（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	稚内市早期療育通園センター			
○保護者評価実施期間	令和6年11月15日	～	令和6年12月13日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	73	（回答者数）	32
○従業者評価実施期間	令和6年11月15日	～	令和6年12月13日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同伴のため、子どもの様子を直接見ていただきながら、その場で状況をお話しすることができる。また、保護者からの相談にもその都度、対応することができる。	保護者からの意見要望を聞いて、日々の療育に生かしている。また、職員の資質と専門性を高めるため学んでいる。	さらなる職員体制の充実が必要である。
2	感覚統合遊具などが充実している。	集団指導室を活用し、運動活動に取り組んでいる。	
3	１回の療育時間は短時間ではあるが、個別にしっかりと対応できる時間枠を多く設けることができている。	通園センターを利用したいと相談があれば、断ることなく応じている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多くの利用希望者に対応している結果、複数回や長時間の利用希望に対応することができない。	限られた職員数の中で「短時間で多数」と「長時間で少数」の両立が難しく、広くニーズに応えるメリットを重視している結果ではある。	さらなる職員体制の充実が必要である。
2	職員の高齢化が著しく、将来の指導者育成に不安がある。	若い人材不足。 大学・専門学校へ実習の機会提供と全道へ求人を出しても応募がない。	
3			